

①がくしゅうかだい（1ねんせい）



【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

<べんきょうすること>

◆「どうぞ よろしく（きょうかしよ 16～17 ページ）」をがくしゅうします。

(1) 『②とりくみシート』やノートに、「いちねん」と「なまえ」をかきます。

※「いちねん」やじぶんのなまえをかくれんしゅうもしましょう。

(2) 『②とりくみシート』やノートに、すきなもののえをかきます。

(3) 『②とりくみシート』やノートをおともだちにみせるときに、どんなことをはなしてみせるかをかんがえます。

※だまってみせないで、どんなことをいってからみせるとよいか、かんがえてみましょう。

(4) がっこうでおともだちにみせるまえに、おうちでれんしゅうをします。おうちの人にみてもらいましょう。

<保護者による関わり方のポイント>

・「どうぞ よろしく」では、お子さんと一緒におうちの人の名前シートを作成いただき、後から見せ合うなどの目標があると、お子さんの練習意欲が高まります。

・一つでも上達したら、「〇〇がいいね。」とお子さんの頑張りを認めてあげてください。

・学習の始まりなので、マスから少し文字がはみだしても正しくかけていたら認めてあげてください。

・『②とりくみシート』を元にし、好きなものの受け答えでは、「〇〇のどこが好きなの？」など、お子さんに質問しながらやり取りをすると、話を広げたり深めたりする工夫を考えるきっかけに繋がります。

・お子さんが一人で学習に取り組む場合の準備として、「い・ち・ね・ん」や、「なまえ」を薄く下書きしたものを用意して練習できるようにしておくことも方法の一つとして考えられます。

《やり取りの例》

・こんにちは

・こんにちは
・ほくは、いちねん いちくみのさっぽろたろうです。

・すきなどうぶつは、ワニです。

・わたしもワニがすきだよ。

・よろしくお願いします。

・こちらこそ、よろしくね。

・どうぞ。

『②とりくみシート』やノートを渡す

・ありがとう。

・どういたしまして。

【さんすう】

いっしゅうかんのあいだ、すこしずつやってみよう。

「※」はべんきょうするときのせんせいからのアドバイスだよ。

<べんきょうすること>

◆「いくつかな」（きょうかしよ 10～12 ページ）

(1) 1（いち）、2（に）、3（さん）、4（し）、5（ご）のかずをこえをだしてよんでみよう。

(2) すうじとおなじかずだけ、10 ページと 11 ページの○のなかにいるをぬろう。

(3) 10 ページと 11 ページのえのなかに 2 このものはあるかな。まるでかこんでみよう。

※えのなかに 2 こあるものは、1 しゆるいだけじゃないよ。

(4) えのなかで 4 こあるものを、まるでかこんでみよう。

(5) 12 ページにある 1、2、3、4、5 のすうじをかくれんしゅうをしよう。

※すうじは、ていねいになぞって、れんしゅうしてから、かこう。

(6) 1、2、3、4、5 のすうじとおなじかずのブロックをつくえのうえにならべてみよう。

※かぞえるときは、こえにだしてみるといいよ。

<保護者による関わり方のポイント>

◆「いくつかな」（教科書 P10～12）

・お子さんが、よく見て考えていたり、ていねいになぞっていたりしていたら、褒めてください。次、学習する意欲につながります。

・一人で学習することが難しそうな場合は、学習が終わった後に、(3)「まだあるかもしれないよ」、(6)「ブロックの数と数字は同じかな」などと声をかけ、一緒に振り返ってあげる関わりが大切です。